学校番号	105

令和３年度　音楽

教科	音楽	科目	音楽理論	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新装版　楽典（音楽之友社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽を形づくる基礎的なしくみや決まりごとを学習します。
・学習した内容は、単なる知識の蓄積で終わることなく、演奏、創作の表現活動に活用していくことを目標にします。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽に関する基礎的な理論を理解し、演奏、創作の表現活動や鑑賞に活用する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、意欲的に音楽活動しようとする。 音楽の組み立て方等に関心を持ち、それらを音楽活動に意欲的に生かそうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、どのように表現するか、工夫している。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識、技能を身に付けている。 創造的な表現をするための技能を身に着けている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート 課題提出	観察 ワークシート 課題提出 定期試験（各学期末）	観察 提出作品 定期試験（各学期末）	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	記譜法・楽典の基礎	記譜法・楽典の基礎 音名 (各国語)等 音価 拍子とリズム	○	○	○		a:音楽Ⅰまでの基礎的な内容について理解し、興味・関心をもっている。 b:音楽を形づくっている要素の働きを生かし、表現の工夫に結び付けている。 c:音楽を形づくっている要素を生かして表現したいことを伝えるための知識・技能を身につけている。	観察 ワークシート 定期試験
	音程	音程 ①幹音のみ ②派生音含む	○	○	○		a:基本的な内容を理解し、興味・関心をもっている。 b:音程の働きを生かし、表現の工夫に結び付けている。 c:音程の知識を生かして、表現したいことを伝えるための知識・技能を身につけている。	観察 ワークシート 課題提出 定期試験
	音階	音階 ①長音階 ②短音階 (自然・和声・旋律)	○	○	○		a:音階を形づくっている要素とその働きに興味・関心をもっている。 b:音階を形づくっている要素の働きを生かし、表現の工夫に結び付けている。 c:音階を形づくっている要素を生かして表現したいことを伝えるための知識・技能を身につけている。	観察 ワークシート 課題提出 定期試験
	創作	旋律の創作	○	○	○		a:自分の表現したい内容を他者に伝えることに、興味・関心をもっている。 b:旋律を形づくっている要素の働きを生かして、表現を工夫している。 c:旋律を形づくっている要素を生かして、表現したいことを伝えるための技術を身につけている。	観察 ワークシート 課題提出
2学期	音階4	音階 ③日本の音階	○	○	○		a:音階を形づくっている要素とその働きに興味・関心をもっている。 b:音階を形づくっている要素の働きを生かし、表現の工夫に結び付けている。 c:音階を形づくっている要素を生かして表現したいことを伝えるための知識・技能を身につけている。	観察 ワークシート
	三和音	三和音 ①基本形 ②転回形	○	○	○		a:基本的な内容を理解し、興味・関心をもっている。 b:三和音の種類の違いを理解し、表現の工夫に結び付けている。 c:三和音の知識を生かして、表現したいことを伝えるための知識・技能を身につけている。	観察 ワークシート 課題詠出 定期試験

	三和音	和音進行 ①終止形 （正格終止・変格終止・複合終止）	○	○	○		a:和音進行の種類ごとの表現効果に興味・関心をもっている。 b:和音進行の種類ごとのイメージを理解し、表現の工夫に結び付けている。 c:和音進行の知識を生かして、表現したいことを伝えるための知識・技能を身につけている。	観察 ワークシート 課題提出 定期試験
		②キーボード奏 (コード伴奏) ③鑑賞	○	○	○	○	a:旋律と伴奏の関わり、表現効果に興味・関心をもっている。 b:和音進行の種類ごとのイメージを理解し、表現の工夫に結び付けている。 c:旋律と伴奏の役割を意識し、表現したいことを伝えるための知識・技能を身につけている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、和音進行を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 課題提出 演奏聴取
	コード伴奏	コード伴奏の創作	○	○	○		a:自分の表現したい内容を他者に伝えることに、興味・関心をもっている。 b:和音進行の働きを生かして、表現を工夫している。 c：和音進行が形づくっている要素の働きを生かして、表現したいことを伝えるための技術を身につけている。	観察 ワークシート 課題提出
3学期	四和音	四和音 ①基本形 ②転回形	○	○	○		a:基本的な内容を理解し、興味・関心をもっている。 b:四和音の種類の違いを理解し、表現の工夫に結び付けている。 c:四和音の知識を生かして、表現したいことを伝えるための知識・技能を身につけている。	観察 ワークシート 課題提出 定期試験
	楽式	楽式 ①動機、小楽節と大楽節 ②唱歌形式	○	○	○		a:音楽を形づくっている要素の働きに興味・関心をもっている。 b:楽式の種類の違いを理解し、表現の工夫に結び付けている。 c:楽式の知識を生かして、表現したいことを伝えるための知識・技能を身につけている。	観察 ワークシート 課題提出 定期試験

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。